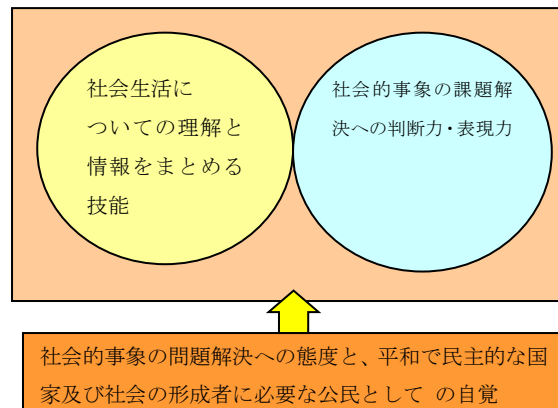


社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。



◎児童の状況

- 新しく学ぶ内容について、興味・関心をもって学習に取り組んでいます。
- 教科書や資料を読んだり、調べ学習したりすることに意欲的に取り組んでいます。
- 新聞やレポートなどの形で調べたことをまとめ、発表しています。

◎指導についての課題

- 自分で資料を読み取ったり、整理したりしながら、それを基に自分の考えをもたせる授業展開を工夫すること。
- 自分の考えを、言葉で説明するような機会を増やすこと。

◎授業革新推進に向けての具体的な方策

- 学習のめあてや課題を明確にし、わかったことやそれをもとに考えたことが実感できるよう、子ども自身が学習を振り返ることができるようにします。
- 必要な情報を資料から取り出すポイントを示し、読み取れることをノートなどに書き、自分の考えを記述するよう指導します。
- 意見や考えを表すことを大切にし、言葉を使って説明する機会を増やします。また、どうしてそのように考えたのか等を問い返していくようにします。

中学年

- ・図やグラフに多く触れさせ、資料を読みとる力を養います。
- ・自分の考えをもち発表できるように、基礎となる知識を身に付けさせる指導をします。

高学年

- ・多様な資料を準備し、それらを関連付けて事実を読み取る指導をします。
- ・自分の考えを表現したり、話し合いをしたりして、考えを深め合う指導をします。

◎言語活動の充実

- ・資料や図・グラフなどを用いて説明を加えながら考えや意見をまとめたり説明したりできるよう指導します。
- ・観察・見学・インタビューなどの体験活動や振り返り活動において、言葉でまとめたり発表したりできるようにします。
- ・自分の言葉で伝え合う活動を通して、相手の話を聞き、自分の考えを説明する力を育てていきます。

◎その他

- ・今までに学習したことを授業に関連させるよう取り入れ、思い出しながら基礎・基本の定着が図れるようにし、次の学習に活用できるよう工夫します。
- ・学校の図書室や公共図書館などを活用して、資料の収集、整理、活用する力を高めます。
- ・電子教科書や視聴覚教材などデジタル教材の活用を工夫します。
- ・「オリンピック・パラリンピック学習読本」を活用し、学習内容に関連させながらオリンピック・パラリンピックに向けた教育を進めていきます。